

北星学園大学 後援会だより

VOL.132



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2018年3月15日
発行者 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011)891-2731
印刷 (社福)北海道リハビリ



私立大学の役割

学長 田村 信一

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、ご父母の皆様には、後援会活動を通して、物心両面にわたって多大な支援をいただき、感謝申しあげます。本学での学生生活が学生の皆さんにとって豊かで充実したものであり、ご父母の皆様もお子様为本当に成長したと実感していただければ、嬉しく存じます。

つい先日、北星を卒業し教員となった皆さんの会合に出席したのですが、母校の思い出話に花が咲き、心楽しい会となりました。

なことがありましたが、私立大学の学長として痛切に感じたことは、日本の高等教育の体制が、その成立からほとんど変わらずに存続しているということです。今年には明治維新から150年が経過し、様々な行事が行われると思いますが、この機会に冷静に日本の高等教育の来し方を考える必要があるのではないのでしょうか。ご存知のように、明治日本の国是は「富国強兵」・「殖産興業」であり、急速な近代化のために、西洋から科学技術を学び、国家的・社会的な仕組みを導入することが求められました。大学は科学技術の開発とエリート育成を担う拠点となったのです。

第2次世界大戦後もこの構図は基本的に変わりませんでした。スローガンは「経済成長」になり、

経済発展と結びつく科学技術の振興が今でも国是です。それはそれで大切なことですが、科学技術の発展によって高度経済成長が達成された結果、かつてのコミュニティは解体し、バラバラの個人主義が蔓延するともに、都市化の過度の進行、地域社会の衰退、高齢化・少子化といった複雑な問題を抱えるようになりました。近代的な経済発展の結果、このような「社会問題」に求められているのは、こうした問題を解決するための人文・社会系の学問研究の深化ではないのでしょうか。自然科学研究と人文・社会科学のバランスこそが重要です。その意味で、後者を担ってきた私立大学の社会的役割はますます大きいと言わなければなりません。



心の種と輝く星 後援会副会長 中村千津子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、保護者の皆様には、後援会活動に深いご理解とご支援を賜りまして感謝申し上げます。

学園創立130周年の2017年より後援会副会長として修了式・卒業式に参列させていただいております。

昨年、卒業式会場のニトリ文化ホールに入ると、前奏カノン

二長調パツヘルベルの音色が流れておりました。しかも、生演奏です。卒業生の新たな旅立ちを祝福する大切な日を思いやる北星学園のおもてなしに感激し、席に着きました。式典前のオルガンの優しく素朴な音色と卒業生の華やかな話し声は心地よく、自身の卒業式を思い出しました。私は大谷地キャンパスのチャペルで卒業証書を授与されました。チャペルの建物の

サイドから水の揺らめきと共に差し込む光とパイプオルガンの音色は28年たった今も忘れません。本日、卒業される皆様もきっと大学の思い出に包まれるときがあると思います。楽しい思い出。ちよっとほろろしい思い出。全てが青春の思い出です。全てが自分の宝物です。社会に出ても経験する全てのことや宝物になると信じて歩んでください。

昨年、母校の小学校で講演する機会を与えられ、小さな後輩たちに贈った言葉を大きな後輩たちにも贈ります。「自分を一番大切にしてください」という願いの言葉です。今ある「いちご」は、お母さんがいてお父さんがいて、おばあちゃんがいて

おじいちゃんがいて、そのまた…と受け継がれてきた生命（いのち）のバトンです。自分を見失い、孤独を感じる時があるかもしれませんが、決してひとりではないのです。見守ってくれている方が必ずいます。命あって、生きていくことは本当に素晴らしいことなのです。サラ・C・スマスはキリスト教の精神に基づく「こころの教育」を軸に本学を創設されました。卒業生の心に種がまかれ息づいています。そして、ひとりひとりに星の光がふりそそいでいます。「Shine like stars in a dark world」輝く星に感謝。

2018年度 大学行事予定

3月	30日(金)	オリエンテーション (~4月7日)	6月	1日(金)	体育祭 (~2日)	10月	6日(土)	大学祭 (~9日)
	4日(水)	定期健康診断 (~7日)		30日(土)	第1回札幌地区父母懇談会 (大学3・4年次、短大部2年次対象)		27日(土)	第2回札幌地区父母懇談会 (全学年対象)
4月	5日(木)	入学式	7月	30日(月)	前期授業終了	12月	下旬	宗教改革記念講演会
	9日(月)	履修登録開始 (~15日) 前期授業開始		31日(火)	前期定期試験 (~8月8日)		3日(月)	『後援会だより』第135号発行 年内授業最終日
5月	2日(水)	学園創立記念日 (授業実施日)	8月	1日(水)	『後援会だより』第134号発行	1月	21日(金)	クリスマス礼拝
	16日(水)	後援会第1回役員会		25日(土)	北見地区父母懇談会		16日(水)	後援会第2回役員会
6月	25日(金)	スマス・ミッションウィーク (~31日)	9月	26日(日)	旭川地区父母懇談会	3月	21日(月)	後期授業終了
	26日(土)	後援会総会・懇親会		1日(土)	釧路地区父母懇談会		22日(火)	後期定期試験 (~30日)
6月	1日(金)	『後援会だより』第133号発行		2日(日)	帯広地区父母懇談会		5日(火)	卒業者名簿発表
				8日(土)	函館地区父母懇談会		14日(木)	卒業礼拝
				9日(日)	苫小牧地区父母懇談会		15日(金)	卒業式
				14日(金)	後期授業開始			『後援会だより』第136号発行
				28日(金)	前期末卒業式			

卒業生の言葉



放送研究会の仲間と（最前列中央が小田嶋さん）

今の僕が 忘れちゃいけないこと

文学部 英文学科

小田嶋 晃 司

北星学園大学で僕が取り組んだことは英文学科での勉強、放送研究会での活動、ジャーナリズム研究会での映像制作、英語教員になるための勉強など多岐にわたります。しかしどの分野を取っても、今の僕を形作ってくれたたくさんの思い出と、それらすべてを彩ってくれた大切な仲間のことが頭に浮かぶのです。

入学当初はやりたいこともなりたいものも何一つない高校時代の延長にいました。でも、周りのみんなはそうじゃなかった。みんながみんな、それぞれ自分がやりたいことを自由に表現していて、とてもキラキラして見え、僕も同じようになりたいと思い始めました。だんだんと大学生活にも慣れ、僕は次第に自分の居場所を見つけました。英文学科の仲間達とは最高に楽しい時間を過ごさせてもらい、放送研究会では自分が作った作品で人の心を動かすことの楽しさを知りました。ジャーナリズム研究会では積極的に外に出ていくことで、自分の価値観がいかに視野の狭いものだったかを痛感しました。また、教師になるという夢を見つけてからは今までの人生で一番努力しました。そのどれもが、僕の胸にしっかりと刻まれています。今だからはっきりと言えます。北星学園大学に入学して、本当に良かったです。



パリ旅行にて（最前列左が宮下さん）

人生の夏休み

経済学部 経済学科

宮下 隼 斗

「大学生活は人生の夏休みだ」と私の高校時代の担任がいつも言っていました。その言葉どおり

北星学園大学に入学し、私は最高の夏休みを過ごすことができました。しかし、どんなに楽しい夏休みにも「宿題」が必ずあります。私の宿題は「行動力を身につけること」であり、その宿題を終えるためにサークルや学外のボランティアに参加しました。その中でも卒業まで過ごした児童福祉研究会が私の夏休みを最高のものにしてくれました。

サークルの仲間と過ごす毎日とはただ楽しいだけでなく、私が知らないことをたくさん教えてくれて、多くのことに興味を持てる日々でした。中でも一番の思い出は、先輩方のパリへの卒業旅行に一緒に行ったことです。国内旅行もしたことがない私が海外旅行に行くのは勇気のいることでしたが、大学生活で身に着けた行動力を活かせたと感じています。また、このサークルの仲間たちと行くことができよかったです。

楽しかった夏休みの後には2学期があるように、来年度から社会に出ると思うと少し憂鬱にもなりますが、大学生活で身に着けた行動力と、たくさんの思い出が新生活でも力になると感じています。北星学園大学で過ごせたからこそ今の自分になることができ、本当に楽しい夏休みでした。



1年次の被災地ボランティアにて

学びと出会いを くれたもの

社会福祉学部 福祉計画学科

大原 美 緒

4年間の大学生活を振り返ってみると、ボランティアを通じた学び、出会いがたくさんあったように

思います。様々なボランティアに参加してきましたが、中でも特に印象に残っているのは、1年次に参加した北星ネット主催の東日本大震災被災地派遣ボランティアです。被災地のために少しでも力になればと思い参加したものの、被災された方々の復興への想いを知り、逆に私たちの方がたくさんパワーをもらいました。被災地ボランティアで見たこと、感じたことは、その後の大学生活に大きな影響を与えたように今では思います。ボランティアを通して自分の関心事を見つけることができ、大学での学びのモチベーションに繋がりました。また、ボランティアを通して出会った人から刺激を受け、自分を鼓舞したこともたくさんありました。

北星学園大学には、ボランティアサークルがたくさんあり、学内にも多くのボランティア募集の掲示があったため、ボランティアを始めやすい環境だったと思います。この4年間で多くの貴重な経験をさせていただきました。大学生活での経験や出会い、また感謝の気持ちを忘れず、これからも精進していきたいと思っています。



ラクロスの試合後（中央が谷岡さん）

かけがえのない時間

短期大学部 生活創造学科

谷岡 麻 由

北星短大に入学して2年、多くの人と出会い充実した毎日を送ることができました。入学とともに

双子の妹との二人暮らしが始まり、慣れない環境での生活に不安でしたが、生活創造学科の先生や友達、そしてラクロス部の活動が毎日をとっても楽しくしてくれました。

私は、4月にグラウンドでラクロスをしている先輩を見て入部を決めました。この入部は自分自身が成長する大きなきっかけとなったと思っています。ラクロス部は週4日練習があり、とてもハードな毎日です。しかし、それ以上に同じ目標を持って一緒に練習した仲間と試合に出ることが楽しく、ラクロス部が大好きでした。特に、同期8人との出会いは私にとってかけがえのないものとなりました。いつも明るく友達想いな8人と一緒に頑張ってきて、本当に多くの思い出を作ることができました。自分自身を成長させてくれたラクロス、楽しい思い出をくれた先輩や後輩、そして同期には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、とても充実した最高の2年間を過ごすことができました。春からは社会人になりますが、北星短大で経験したこと、支えてくれたすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、立派な社会人になれるよう頑張っていきます。

後援会文庫

後援会では下記の図書・

DVDを大学に寄贈しました。

寄贈図書

- たゆたえども沈まず 劇場
- 太陽と乙女
- マスカレード・ナイト
- 風と共にゆとりぬ
- ホワイトラビット：a night 他

DVD

- パイレーツ・オブ・カリビアン/最後の海賊
- ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅
- ミス・ペレグリンと奇妙なこどもたち
- 君の名は。
- 美女と野獣
- この世界の片隅に 他



北星学園大学・北星学園大学短期大学部

第44回 同窓会奨励生募集について

北星学園大学同窓会では1976年に「同窓会奨励生制度」を発足し、現在まで241名の在学学生を奨励生として採用しています。

この奨励生制度は、『勉学・サークル活動・ボランティア活動など、学内外様々な分野で活躍している学生』への支援と、在学学生に同窓会活動を知ってもらい卒業後も協力していただきたいという願いから行っています。

応募方法は下記のとおりです。学生への案内は3月末から始まるオリエンテーション資料に封入しますので、ぜひご応募ください。

- **応募資格**：①2年次以上の全学生、
大学院生で同窓会費を支払っている者(本学卒業生は支払済)
②同窓会活動に協力できる者
(7月、10月の同窓会行事参加、同窓会誌の寄稿等)
- **奨励金学**：1人10万円(返還義務なし)
- **募集人数**：若干名
- **募集期間**：2018年4月2日(月)～4月27日(金)
- **応募書類**：自己推薦文を書いていただきます。
社会連携課(C館1階)まで書類を取りに来てください。
※応募書類の提出期間については別途お知らせいたします。
※選考は同窓会幹事会にて行います。

問合せ先

北星学園大学 同窓会事務局 (C館1階 社会連携課)
メールアドレス: dousoukai@hokusei.ac.jp TEL: 011-891-2731 (代表)



同窓会奨励生の集い(7月)集合写真



同窓会懇親会(10月)に出席した奨励生

パイプオルガンコンサートの お知らせ *Martin Gregorius*

【一回っパ大陸のオルガン音楽の300年】

日時：2018年5月19日(土)
午後2時から
会場：本学チャペル

第19代札幌コンサートホール専属オルガニストのマルタン・グレゴリウス氏をお招きします。どうぞパイプオルガンの名曲をお楽しみください。

予定曲目
・モーツァルト：幻想曲 へ短調 KV594
・ブクスフーデ：シャコンヌ ホ短調 BuxWV160
・バッハ：前奏曲 変ホ長調 ほか

入場無料
要申込

申込先：同窓会事務局 (社会連携課内)
TEL: 011-891-2731 メール: dousoukai@hokusei.ac.jp
申込期間：4月23日(月)～5月18日(金)

2017年度 第2回 後援会役員会開催報告

1月17日(水)、ホテル札幌ガーデンパレスにて第2回後援会役員会を開催いたしました。当日は事務局も含め36名の皆様にご出席いただきました。
深澤秀則後援会会長、田村信一学長よりそれぞれご挨拶をいただいたあと、事務局より地区別父母懇談会開催報告や後援会予算執行状況について報告しました。
また、役員会終了後には懇親会が行われました。終始和やかな雰囲気が進められ、役員の皆様と親睦を深める場となりました。
次回役員会は5月16日(水)を予定しています。

2018年度 後援会行事のご案内

総会・懇親会

5月26日(土)	北星学園大学校舎
----------	----------

地区別父母懇談会

6月30日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎 (大学3・4年次、短期大学部2年次対象)
8月25日(土)	北見会場	ホテル黒部
8月26日(日)	旭川会場	旭川グランドホテル
9月1日(土)	釧路会場	釧路プリンスホテル
9月2日(日)	帯広会場	ホテルグランテラス帯広
9月8日(土)	函館会場	函館国際ホテル
9月9日(日)	苫小牧会場	グランドホテルニュー王子
10月27日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(全学年対象)

※学生本人を同席させての三者面談は父母懇談会の趣旨から行っておりません。
※面談順は当日お知らせいたします。
※準備の都合上、個別面談の担当がゼミの担当教員とは限りませんのでご容赦ください。

北星学園大学 教育振興寄付金で芳名 募金のご協力で深く感謝申し上げます。

2017年11月1日から2018年1月31日まで (敬称略)

寄付

☆大学・短期大学部 (父母、同窓生、一般、旧教職員、理事)
齊藤 良文 梅田 信吾 丸田 博 眞鍋 武 大庭 幸生
真田 時蔵 水上 初江 森永 正治 高木 信夫 田村 信一
大山 綱夫 山口 博教 佐藤 修子 谷 さつき 鹿熊 裕志

あとがき

卒業生の皆様、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。在学中は温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。
(後援会事務局 山下)

総会・懇親会

2018年度の総会・懇親会を2018年5月26日(土)に大学にて開催いたします。

総会では後援会事業における活動報告・決算や活動方針等を審議いたします。

また、総会終了後には、キャンパス見学と懇親会を行います。特に年に一度のキャンパス見学はお子様の大学生活をより身近に感じられると好評です。ぜひこの機会に大学に足をお運びください。懇親会には教職員も参加いたします。

ご案内は新年度に入りましたら、文書及び大学ホームページにて行います。



総会終了後のキャンパス見学の様子



懇親会の様子(鈴木副学長と養内文芸部長を囲んで)

地区別父母懇談会

2018年度の「地区別父母懇談会」開催日程は左表のとおりです。

父母懇談会では全体説明のあと、お子様の修学状況、学生生活状況及び就職活動関係の個別面談を実施いたします。前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」や「授業科目別出席状況」などを個別にご用意し、担当教員から説明を聞くことができます。参加された皆様からは毎年たくさんの好評の声をいただいています。ぜひお気軽にお申込みの上、ご出席ください。

ご案内は新年度に入りましたら、文章及び大学ホームページにて行います。



全体会の様子(札幌)



個別面談の様子(苫小牧)